

2015 連合平和ノサップ集会開かれる

全国から1,200名が返還を求め結集！

～連合福島派遣団として8名が参加～



根室の地に降り立った連合福島派遣団の皆さん
北方四島学習会が開催され、子供の頃に島を追われた経験をもつ方をモデルとした映画が上映され、またセミナーでは直接その方の思いを聞くことができた。改めて、強行的に故郷を追われた元島民の苦しみ・憤りはいかばかりなものか、そして知っているようで知らないことが

連合は、6月～9月にかけての平和行動月間の締めくくりとなる、北方領土の早期返還と日露平和条約の締結をめざし、9月12日～13日の2日間、北海道の根室の地において「2015連合平和ノサップ集会」を開催した。連合福島からは、各構成組織及び各地区連合のご協力を頂き、連合福島生亀副会長（電機連合）を団長として、8名が派遣団として参加した。

集会前
日の12
日には北
方四島学
習会が催
行され、
またセミ
ナーでは
直接その
方の思い
を聞くこ
うで知ら
ないこと
が沢山あ
る事実、
もつと学
ぶことが
必要だと
痛感した。



主催者を代表して挨拶する神津連合事務局長

13日は、納沙布岬においてあいにくの小雨の中、全国から1,200名の同士が集まり、平和集会が開催された。戦後70年を迎え、元島民の方も平均年齢が80歳を超えていて、「島を取り戻さなければ戦争はまだ終わっていない」との言葉に衝撃を受けながら、一刻も早く故郷を取り戻さなくてはならないこと。併せて、この歴史を若い世代にも正しく伝えていくことと。風化させてはならないことを強く感じた。そして、この集会に参加された皆さんが語り部となって伝えて行くことで、平和運動がさらに広がって行くことを願いながら帰路についた。



学習会で熱心に傾聴する派遣団の皆さん



平和集会会場の四島のかけ橋の前にて

平和集会会場の四島のかけ橋の前にて